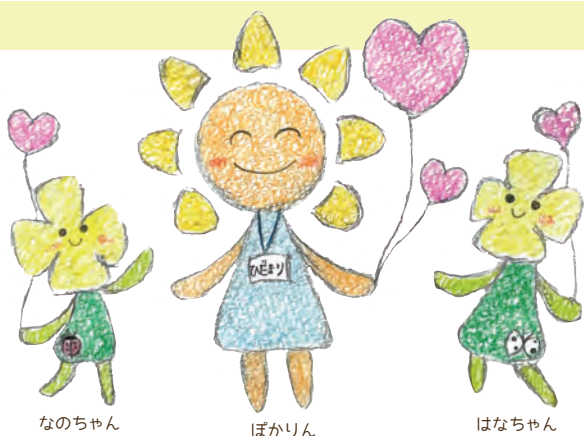


ひだまり

ニュース



2024年
冬号



なのちゃん

ばかりん

はなちゃん

千葉県中核地域生活支援センター大会 in 2024 開催



2024年9月9日(月)、千葉県社会福祉センターにて千葉県中核地域生活支援センター大会 in 2024

(主催：千葉県・千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会)が開催されました。今回は、「原点を語る・未来を描く」をテーマに、鼎談、千葉県中核地域生活支援センター活動報告2023、パネルディスカッションを行い、261名のご参加を頂きました。当日は、熊谷 俊人 千葉県知事の挨拶から始まり、中核地域生活支援センター(以下「中核」という)の20周年記念大会ということで中核設立当時の堂本元千葉県知事の参加も予定されていましたが、欠席となりました。以下にその内容をご紹介します。

鼎談 「健康福祉千葉方式を振り返る ～誰もがありのままにその人らしく暮らすために～」

鼎談は、堂本 暁子 元千葉県知事(都合により欠席)、池田 徹(社会福祉法人生活クラブ風の村 特別顧問)横山 正博(千葉県身体障害者福祉事業団理事長)コーディネーターとして野澤 和弘(植草学園大学副学長)進行の下、中核を創った原動力の皆さまをお迎えして、当時描いていた理念を伺い、千葉県独自の健康福祉千葉方式やワンストップで相談対応できる中核の機能についてお話いただきました。タウンミーティングを何度も繰り返し、県民の声を聞きながら原型を作り、それまで縦割りに行われていた福祉を分野横断的にまとめた大変さや、突き抜けた非常識なことでも踏み込まないと変えられない物があるといった力強い未来へのメッセージを聞くことができました。

中核地域生活支援センター活動報告2023

五十嵐 孝子(中核地域生活支援センターのだネットセンター長)

活動報告では時代の流れによってニーズが変化しており、近年、ヤングケアラーや外国人からの相談といった新しい課題もあり、制度の狭間の相談こそ、中核が対応していく必要があることを痛感しました。

パネルディスカッション

登壇者に伊藤 佳世子(千葉市中央区障害者基幹相談支援センター管理者)及川 哲(社会福祉法人四街道市社会福祉協議会事務局次長)白田 東吾(船橋市保健と福祉の総合相談窓口さーくる所長)高木亜希子(中核地域生活支援センター香取CCCセンター長)の4名をお迎えし、ファシリテーターとして澁澤 茂(千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会会長)に中核のこれからを如何に継承し発展させていくのか考え、パネルディスカッションを進めていただきました。

登壇者それぞれの相談事業、福祉への熱い想いを伺うことができ、常に「何をすれば良いのか」、「誰のための支援なのか」、ということを考えながら動かれている事を改めて理解する機会となりました。



社会福祉法人
太陽会

千葉県中核地域生活支援センター
ひだまり

ひだまりは、千葉県からの委託で社会福祉法人太陽会が運営しています。

2024.12.01 発行(不定期発行)

この広報紙に関するお問い合わせは…

☎ 0470-28-5667 まで

地域自立支援協議会 6 部会合同研修

2024 年 10 月 24 日（木）館山市コミュニティセンターにて、地域自立支援協議会 6 部会合同研修会が開催されました。今回は、千葉市中央区障害者基幹相談支援センター 管理者 伊藤 佳世子氏をお迎えし、「千葉市地域自立支援協議会と基幹相談支援センターの活動について」講義を頂きました。地域自立支援協議会で計画的な議論を進めていくことが地域の課題解決に繋がるとの講義を受け、安房では何ができるかを各自で再検討する場となりました。



地域自立支援協議会第 2 回子ども部会

2024 年 9 月 26 日（木）三芳農村環境改善センターにて、地域自立支援協議会第 2 回子ども部会が開催されました。3 市 1 町（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）より、今年度から策定された第 7 期障害福祉計画の障害児計画についての説明と、児童発達支援センターについて意見を交わしました。加藤部会長声掛けの下、児童発達支援センター設置に向けて何から進めていけるか、まずは 3 市 1 町で現状と課題を共有していけるよう、「児童発達支援センター設置に向けての準備会」の設置を検討していくことになりました。今後の動向に注目していきたいです。



ふさのこサポネット

2024 年 10 月 5 日（土）ふさのこサポネットが行われました。今回ひだまりでは、「定時制高校への支援（校内居場所カフェ）」と「中学卒業後、在宅で過ごす子どもへの支援について」について実践報告を交えた発表を担当しました。また、「高校進学後に不登校、家庭的な問題が表面化した子どもへの支援」「ひきこもりがちな子どもの居場所づくりや就労についての支援」の講演等が行われ、様々な角度からの支援を学びました。児童分野に関しての支援は、適切なサポートが今後の自立と社会参加を促すこと、地域や行政、民間団体が連携し、子ども一人ひとりの特性に合わせた対応を早期に支援することにより、長期的な課題の軽減が期待されると感じました。

フードバンク安房設立



2024 年 11 月 6 日（水）「フードバンク安房」の開所式が行われました。フードバンク安房は、安房圏域における活動拠点としてフードバンクちばの協力の下、地域の社会福祉協議会、生活困窮者自立支援機関（ひだまり等）、生活協同組合、子ども食堂等のさまざまな活動をしている方々との共同で運営する団体となります。フードバンクとは、まだ食べることができる、過剰在庫、包装等の印字ミスで流通に出すことができない食品を企業や家庭などから引き取ることで食品ロスを削減し、支援を必要とする人たちや団体等へ無償で提供する活動です。

フードバンク安房では、活動の目的として食品ロスを削減するだけでなく、地域の社会福祉協議会、生活困窮者自立支援機関（ひだまり等）を通して生活に困窮する方々や支援を必要とする団体に繋ぐ橋渡しの役割を担ってまいります。また、食品の寄贈は、安房圏域の企業、団体、地域住民の皆さんからフードドライブを通して広く提供をお願いしてまいりますので、ご理解とご協力を合わせてお願い致します。



安房地区の新規グループホームを紹介します！

NPO 法人なの花会 グループホームなの花

「館山1129なの花ハウス」 定員3名（居室4部屋）

アパートタイプの完全に一人暮らしに近い形のグループホームとなります。

グループホームから、次のステップ（地域生活、一人暮らし）に向けた自活能力を身につけたい方の為のグループホームとなります。

セブンイレブン、尾張屋、おどや、ヤックス、千葉銀行がすべて徒歩5分圏内にあり、買い物に不便をしない立地条件となっております。

Wi-fi も完備され、1室は共同スペースとして開放しております。

IH 調理台、エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、オーブントースター、電動ポット、布団、カーテン等すべてそろっており、身一つで入居可能です。

現在2階1室が開いております。見学は随時行っております。ご相談お待ちしております。

〒294-0036

千葉県館山市館山1129

お問合せ 0470-23-5922



～ グループホームの晩ごはん ～

障害があっても地域の中で自分らしく生活していくために、安房圏域には現在、障害者グループホームが沢山あります。このコーナーはそれぞれのグループホームの夕食のメニューを、“隣の晩ごはん”形式（知る人ぞ知る）で紹介しています。

今回は【寺子屋株式会社 グループホーム神楽、喜楽、楽天、楽園】

の夕食を覗いてみようと思います。



・小松菜と豚肉の和風炒め・ニラ玉汁
・揚げなすポン酢かけ・冷奴・ご飯
・白瓜の浅漬け・大学芋・草もち



・焼き鳥丼・ちくわと豆苗の和物
・さつまいもとしそ葉の天ぷら
・厚揚げの金め煮・お味噌汁・豆大福



・麻婆豆腐・回鍋肉
・春雨サラダ・中華たまごスープ
・ご飯・杏仁豆腐



・お刺身・大根と竹輪の金め煮
・大豆といろいろ野菜昆布の佃煮
（別名ごはん泥棒）・お味噌汁・大福



・チキンのソテー・ベビーリーフ添え
・麻婆春雨・小松菜とカニのお浸し
・ご飯・なめこの味噌汁・栗煮し羊羹



・ポークソテー・マカロニポテトサラダ添え
・かぼちゃの甘煮・豆苗とちくわの和物
・ご飯・お味噌汁・りんご



・パンプキンクリームシチュー
・りんご入りポテトサラダ
・きんぴらごぼう・ご飯・パンナコッタ

次はあなたの
グループホームに
お邪魔しま〜す★



あつまり



前回のひだまりニュース発行から3回（4月19日、7月4日、9月20日）居場所づくりを行いました。毎回いらして下さるようになった方から、「次はいつやるの？」と問い合わせして下さる方などが、少しずつ定着してきています。

4月開催は天気が良かったので散歩へ行きました。普段は外へ出ても散歩は中々出来ないと話していた方も居る中、たわいもない話をしながら軽く散歩をし、リフレッシュ出来ました。7月開催は七夕飾り。ユーモアある願い事を書いたり、皆で盛り上がっていました。毎回、何かしらの工作をしては、あれこれ話したり黙々と工作をしたり、個性が光る作品がたくさん出来上がります。

この活動を通し、話をしたことのない方とも話すきっかけが出来たり、普段感じていること、困っていることを自由に言い合うことで、新たな気づきがあったりヒントを得たり、自分だけが悩んでいるわけではないと感じていただけていると思います。

会話が苦手な方は皆の話を聞くだけで、無理に話す必要はありません。初めは、緊張していらっしゃる方もいますが、何度か通う事で顔見知りになっていきます。短い時間ですが、楽しく笑顔で過ごして頂いているのを見ると、開催側の私たちも笑顔になります。また、フードバンクちばや社会福祉協議会から支援していただいた食品の提供も時々行っており、食品の必要な方の生活の足しになればとお渡ししています。次回はクリスマスにちなんだ製作を行う予定です（*^_^*）



ひだまりでは、誰かと繋がることの大切さや安心を感じてもらうために、性別・年齢・障害を問わず、居心地の良い場を目指して2021年より『あつまり』と称し居場所づくりを開催しています。

参加する皆さまが居心地が良いと感じて頂ける場を目指し、楽しいひとときを過ごして頂ける様、隔月開催をしております。場所は毎回、館山コミュニティーセンター（中央公民館）1階です。



ひだまり掲示板

ひだまりからのお知らせ

ひだまりでは、子どもや障がい者、高齢者といった枠を取り払い、一人ひとりの状況にあわせて、公的機関、民間事業者、福祉グループなどが行なう様々な福祉サービスのコーディネートや、福祉の総合相談、権利擁護活動等をおこなっています。

ご相談は24時間・365日体制で受け付けています。ご相談方法は、電話やメール、ご自宅へ訪問、ひだまりへの来所など。個人情報はお守りしていますが、気になる方は匿名でのご相談もできます。

お気軽にご相談ください。



広報紙「ひだまりニュース 2024年冬号」2024.12.1 発行

【編集・発行】千葉県中核地域生活支援センターひだまり 〒294-0014 千葉県館山市山本 1155

TEL.0470-28-5667 FAX.0470-28-5668 E-mail: hidamari@s-taiyou-kai.jp



ひだまりのホームページ